

HYOGO “ものづくりにインパクトを” Monozukuri Frontier

兵庫県の代表的な産業である製造業（以下、「ものづくり」という）領域での新たなイノベーション創出に向け、プレシード・シード期のスタートアップ、新たな事業で独立した収益基盤の構築を目指す中堅・中小企業向けに、アクセラレーションプログラムを実施します。

＼こんな方におすすめ！／

- ✓ ものづくりのアイデアを形にしたい方
- ✓ 技術はあるが、新しいビジネスの形にする方法に苦戦している方
- ✓ 試作開発中のプロダクトの仮説検証に課題を感じている方 など

※プログラムの詳細は裏面をご覧ください。

— Meetup & 支援プログラム説明会

支援プログラムの具体的な支援内容や参加メリットをお伝えするとともに、ものづくりスタートアップによるパネルディスカッションも同時開催します！

● 日時

6/13 (金) 17:30 ~ 20:00

● イベント内容

第1部

ハイブリット開催（現地とオンライン）
・プログラム内容の概要説明

第2部

現地開催のみ

- ・ものづくりスタートアップによるパネルディスカッション
- ・交流会

● パネルディスカッション登壇企業

株式会社NINZIA
CEO
寄玉 昌宏



日本の蒟蒻技術を用いた次世代フードテック「NINZIA」を展開し、食の制限克服を目指す。

セレンディクス株式会社
COO
飯田 国大



2018年に同社を共同創業。車の価格で買える3Dプリンター住宅を開発し、住宅ローンのない社会を目指す。

● 会場

起業プラザひょうご
神戸市中央区浪花町56
三井住友銀行神戸本部ビル2F



▶ 参加申込は
こちら

— プログラム概要

● 対象者

ものづくり領域（IT等のものづくり企業向けサービスを含む）で事業をしている、または事業開始の意思を有する以下の方

（１）プレシード期/シード期のスタートアップ（スタートアップを目指す個人を含む）

（２）中堅・中小企業

（既存事業と一線を画し、将来的に独立した収益基盤を目指す企業）

● 参加料

無料

● 採択数

5社程度

※詳細は、ホームページ掲載の募集要項をご覧ください。

● 審査スケジュール

2025年

6月2日(月)	●	応募開始
6月13日(金)	●	Meetup & 支援プログラム説明会
6月30日(月)	●	応募締切
7月上旬	●	書類審査
7月29日(火)	●	面談審査
7月下旬	●	採択通知
8月18日(月)~	●	プログラム開始

2026年

3月中旬	●	DemoDay
------	---	---------

※上記スケジュールは現時点のスケジュールであり、状況により変更となる可能性がございます。

— 支援内容

ゴール設定・キックオフ面談

プログラム開始時点のビジネスモデルやプロダクト開発状況、今後の目標や課題をメンターがヒアリングし、プログラム期間内の支援内容を調整します。

セミナー

ものづくり領域に必要とされる知識(ビジネスモデル、仮説検証・資金調達、知財等)に関するセミナー・ワークショップを開催します。

伴走メンタリング

隔週で1時間程度、プログラム運営者と支援内容の調整等を行う個別ミーティングを実施します。

ものづくりメンタリング

希望者には、Monozukuri Venturesが個別メンタリングを行います。（1社1回（1時間）まで）追加相談については要相談。（有償になります）

DemoDay・交流会

県内の支援機関、事業会社やスタートアップ等が参加するDemo Day・交流会を開催します。

その他

本プログラムに関する相談対応として、補助金申請に関する相談や本プログラムの協力機関への紹介などをサポートします。

ものづくりスタートアップ支援事業費補助金

プログラム期間中にプロトタイプ制作や実証試験の実施等にかかる経費は審査の上、100万円を上限として補助します。（補助率1/2）

経費の補助にあたっては、別途、兵庫県へ補助金申請書等の提出が必要となります。

補助
上限額

100万円まで
(補助率1/2)

● 問い合わせ先

主催

兵庫県

事務局

有限責任監査法人トーマツ

担当：HYOGO Monozukuri Frontier 事務局

メール：hyogo-monozukuri-frontier@tohatsu.co.jp

HYOGO
Monozukuri Frontier



ホームページ 6/2 OPEN